

## 平成31年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰被表彰者

### 【保全活動部門(11件)】

No.	被表彰者	功績概要
1	やなぎだ ちえき 柳田 千恵喜 (岩手県花巻市)	平成2年より、早池峰国定公園の登山道や施設の修復保全活動をはじめ、高山植物の保護のための登山者への指導、同公園内の巡視等の活動を行い、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
2	さいとう えさみ 斎藤 栄作美 (秋田県山本郡藤里町)	昭和48年より白神山地の保全活動に従事。その間、白神山地世界遺産登録に重要な役割を果たすとともに、登録後も、秋田県自然保護指導員、白神山地世界遺産センター(藤里館)の自然アドバイザー等として、世界遺産地域の巡視、適正な保全のための啓蒙活動を行うなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
3	えぬびーおーほうじん さんやそうほぞんかい NPO法人 山野草保存会 (栃木県那須郡那珂川町)	29年の長きにわたり、「カタクリ山公園」におけるカタクリを始めとした貴重な植物の保護育成、群生地の整備等の生育環境整備を行うとともに、同公園の周辺の美化清掃を行うなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
4	すずき まさゆき 鈴木 理之 (千葉県旭市)	平成元年より、海匝地域の旧旭市周辺の鳥獣保護区等の巡視等に従事するほか、有害鳥獣捕獲とその安全対策の強化・担い手の育成、キジ及びヤマドリを毎年放鳥する事業を行うなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
5	とうへい かずお 藤平 量郎 (千葉県君津市)	長年にわたり、植物、特に房総丘陵の森林や沢植生の調査研究に従事した。なかでも、絶滅の危機的状況にあったマツ科の樹木「ヒメコマツ」の生育状況調査を始めとした保護活動等を実施するなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
6	たなか とよあき 田中 豊秋 (大阪府岸和田市)	平成3年より、金剛生駒紀泉国定公園、なかでも和泉葛城山のブナ原生林を中心に定期的な巡視を行い、貴重な植物の保護、倒木や山地崩壊等の災害調査、自然公園利用者への指導を行う等、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
7	きただ すみこ 北田 澄子 (大阪府四条畷市)	平成10年より、ニッポンバラタナゴの保護増殖を目的として、府内唯一の生息地である八尾市のため池における水辺環境の改良保全に携わるとともに、和泉葛城山ブナ林周辺の間伐、能勢町三草山・地黄湿地における草刈りや動植物の生息調査を行うなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
8	いっばんしゃだんほうじんまりんねつもとだ 一般社団法人マリネット下田 (静岡県下田市)	平成13年の設立以降、下田市内の海岸で定期的にビーチクリーン活動を行い美しい砂浜環境を維持するほか、子ども等を対象とする各種の体験スクールを開催し、マリンスポーツを中心とした自然ふれあい活動を行うなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
9	あべ としかず 阿部 敏計 (宮城県仙台市太白区)	絶滅の危機にあった冬の渡り鳥シジュウカラガンを復活させるために、千島列島エカルマ島への放鳥を長年に渡って実施するほか、シジュウカラガン観察会や保護の普及啓発も行うなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
10	なかむら ゆきひろ 中村 幸弘 (新潟県柏崎市)	新潟県におけるトミヨ属淡水型の分布について調査を実施し、調査の結果は村上市等での市民によるトミヨ属淡水型の保護・保全活動に活用されている。これらの活動に参加し、発表等の啓発活動も行っており、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。
11	はこざき としひろ 箱崎 敏洋 (北海道河東郡鹿追町)	昭和61年より、岩松養魚場におけるシマフクロウの保護増殖事業として給餌を実施し、平成2年から合計9羽のヒナが巣立ち、十勝・南大雪山地方の分散の拠点となるなど、自然環境の保全及び普及啓発活動に尽力。

【いきもの環境づくり・みどり部門(6件)】

No.	被表彰者	功績概要
12	あさかわ ちかお 浅川 千佳夫 (群馬県高崎市)	日本野鳥の会群馬に入会以降、会員や県民を対象とした探鳥会で解説指導を行い、県民が野鳥に親しむための支援及び野鳥保護思想の普及啓発に努めるなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
13	ごじょうのひめたいこうちをまもるかい 五條のヒメタイコウチを守る会 (奈良県五條市)	奈良県指定種であるヒメタイコウチの生息地保護巡視・域外保全を行うとともに、市内の小学校で、ヒメタイコウチに触れ、親しみを感じるための飼育増殖を指導するなどの環境教育を行っており、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
14	ひらい たむろ 平井 屯 (愛媛県伊予郡松前町)	40年以上に渡り、松前町の自然環境の調査や保全に従事。なかでも、環境省の準絶滅危惧種に認定された「タンシロラン」を愛媛県で初めて発見したほか、松前町まちづくり塾から管理委託されたジオトープにおいて自然環境教育を行うなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
15	ひきた ひてこ 足田 英子 (北海道稚内市)	30年にわたり、利尻礼文サロベツ国立公園パークボランティアとして、外来種駆除活動やエゾタンボボの調査、野鳥の飛来状況調査などを通じて道北の自然の変化を把握・発信を行うほか、野鳥の会やネイチャーラブ最北においても鳥類観察会や森作り活動を行うなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
16	じえいあーるうちのかんとりーくらぶ JR内野カントリークラブ (福岡県飯塚市)	平成8年の公益社団法人ゴルフ緑化促進会への入会以降、同会が推進する植樹・環境保全・普及啓発等の環境緑化事業に協力し、その緑化協力金により、福岡県の学校や公園、福祉施設等の社会公共施設の緑化植樹・環境保全・緑化普及啓発等の事業推進に貢献するなど、みどりの普及等推進に尽力。
17	てづか せいしゅ 手塚 征守 (埼玉県北足立郡伊奈町)	地域の自然保護活動にボランティアとして37年の長きにわたり活動し、造園業の技能と樹木医の資格を生かし、地元はもとより首都圏で環境管理活動の支援を続けており、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。

【自然ふれあい部門(15件)】

No.	被表彰者	功績概要
18	えんどう かつみ 遠藤 克美 (宮城県登米市)	昭和59年より、地域の森林の恵みを自ら収穫し、販売するという体験活動を通じて、次代を担う児童たちに地域の森林の豊かさや森林づくりの大切さについて教えるなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
19	とくていひえいりかつどうほうじん いわきのもりにしたしむかい 特定非営利活動法人 いわきの森に親しむ会 (福島県いわき市)	平成13年の設立以降、自然観察会の開催や、市内小学校を中心とした森林保全・自然環境保全に係る環境教育活動(学校支援活動)を実施するなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
20	ほこたしりつしらとりにししょうがっこう 銚田市立白鳥西小学校 (茨城県銚田市)	北浦や白鳥川の水質調査や生き物の観察を行い自然と触れ合う活動を長年行ってきた。また、地元の漁師や企業と連携し、漁業体験や学校においてワカサギの人工ふ化や稚魚の放流などの体験学習等も行ってあり、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
21	ながおかしりつかわくちしょうがっこう 長岡市立川口小学校 (新潟県長岡市)	平成9年より、信濃川・魚野川での水中昆虫の生息状況などの環境調査や川に親しむ活動、中越地震で被災し復興した棚田での米作り、植林活動の実施を通じ、児童はもとより、児童の活動を通じて地域住民がふるさとの豊かな自然を見直すことに繋がるなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
22	ますとみちくこみゆにていかいぎ ぶんか・ほたるぶかい 益富地区コミュニティ会議 文化・蛍部会 (愛知県豊田市)	昭和62年の設立以降、益富地区でのゲンジボタルの飼育、小学校を含む多くの主体が一体となって運営する「ホタル観賞会」やホタルの飼育についての講習会の実施等を通じ、魅力のある自然環境づくりや地域の自然環境保全意識を高めるなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。

23	とくていひえいりかつどうほうじん もりふれくらぶ 特定非営利活動法人 もりふれ倶楽部 (島根県松江市)	平成16年の設立以降、島根県内各地での自然工作や自然体験の指導やふるさと森林公園の森林や学校林の整備、森林ボランティアの養成等を通じて、森林や里山保全の大切さを伝える活動を長年に渡って行うなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
24	えひめもりのあんないにんかい えひめ森の案内人会 (愛媛県松山市)	平成15年の設立以降、県民に対して森の案内に必要な自然環境及び森林に関する基礎知識の習得を図る環境学習活動を実施するほか、「山の日」イベントにおける散策案内、えひめ森林公園内での環境整備を行うなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
25	いっばんしゃだんほうじん まほろばしぜんがっこう 一般社団法人 まほろば自然学校 (福岡県太宰府市)	平成17年の設立以降、太宰府市内での生きもの観察会や季節発刊物「いきもの」の作成・市内小学校への配布など、様々な切り口から環境教育を実施。平成25年度に開始した北九州市山田緑地において身の周りにいる生きもの生態を学ぶ講座を100回以上開催するなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
26	すみ のりお 角 紀男 (佐賀県小城市)	佐賀県内の野鳥類の調査と分析を多年にわたり行っており、特に野鳥類の渡りの時期には、細かく広くフィールドワークを実践し啓発活動等も行うなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
27	たつたやましぜんたんけんたい 立田山自然探検隊 (熊本県熊本市北区)	昭和63年の設立以降、熊本市市街地に残された貴重な自然緑地である「立田山」において、自然観察会等を実施するとともに、環境省のモニタリングサイト1000里地調査に参加し、ニホンアカガエルの調査を開始、これを観察会を兼ねた市民参加型調査へと展開するなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
28	せんぶもみじむら 千部もみじ村 (大分県豊後高田市)	平成元年の設立以降、千部山に紅葉など1,500本を植樹するとともに、平成13年からは紅葉の観賞と植樹体験を兼ねたイベント「千部もみじ村開き」の開催、平成18年からは地元の小学校の児童を対象に1年を通じての環境教育に取り組むなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
29	くぼ けんいち 窪 健一 (鹿児島県志布志市)	平成19年より志布志市内を対象に外来生物の実態調査を行うとともに、特定外来生物及び侵略的外来種の駆除活動を市内の小中学生を対象とした啓発活動を兼ねて実施するほか、写真展や講演会など様々な方法での啓発活動を行っており、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
30	わかまつ みきお 若松 幹男 (北海道札幌市)	北海道地質調査業協会の技術アドバイザーとして一般市民に対する地質・環境・防災に関する啓蒙活動に従事するほか、支笏湖から多くのことを学ぼうという主旨で「支笏湖学」を提唱し、支笏湖に関わる多方面の知識を子供から大人までの幅広い世代に紹介するなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
31	うぐいみとものしぜんじゅくうんえいきょうぎかい 宇久井海と森の自然塾運営協議会 (和歌山県東牟婁郡那智勝浦町)	平成16年の設立以降、吉野熊野国立公園宇久井半島において、自然への理解や自然を大切に育てることを目的に、地域の自然環境学習の場として、地元小中学校を始め、団体、親子連れなど向けに、自然体験プログラムを開催するなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。
32	かとう ぎんじろう 加藤 銀次郎 (長野県松本市)	上高地、乗鞍、槍穂高等の登山道等の整備や官民協働型管理の構築強化等を推進し、山岳ガイド関係の団体から顕著な功績があるとして推薦された。また、第1回山の日記念全国大会実行委員会事務局長として同大会を成功に導くなど、自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力。

【調査・学術研究部門(4件)】

No.	被表彰者	功績概要
33	すがわら きえつ 菅原 亀悦 (宮城県仙台市青葉区)	昭和53年より宮城県内の自然公園等に関する学術調査や植生調査に多数従事するとともに、宮城県版レッドデータブック編纂のデータ収集・分析において中心的役割を果たすなど、自然環境の調査研究及び普及啓発活動に尽力。
34	たなかまる まさお 田中丸 雅雄 (佐賀県佐賀市)	平成13年よりモニタリングサイト1000(シギチドリ類調査)のカウント調査に取り組み、その調査結果が平成30年5月にラムサール条約湿地に登録された東よか干潟において登録の条件を満たすことの証明となるなど、自然環境の調査研究及び普及啓発活動に尽力。

35	てらだ じんし 寺田 仁志 (鹿児島県鹿児島市)	南九州・南西諸島の植生を精力的に調査し、その報告書が基となって、沖縄県3件、鹿児島県12件が国の天然記念物に新たに指定されたほか、ラムサール登録湿地等の自然公園、文化財、ジオパーク及び身近な河川や里山等を継続的に調査し、行政や市民にその価値や保全の重要性を伝えるなど、自然環境の調査研究及び普及啓発活動に尽力。
36	でぐち としや 出口 敏也 (長崎県五島市)	平成9年より、鳥類を中心に福江島の生物について継続的に調査を実施。平成12年からは、ハチクマ個体群が秋の集団渡りにおいて同島大瀬崎周辺に集中する事象を利用し、日本におけるハチクマ個体数を把握するなど、自然環境の調査研究及び普及啓発活動に尽力。